

# 大和の風

【第22号】令和8年3月4日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

## 卒業生に伝えたい ～校歌に込められた思い～

本校の校歌は、本校の初代および第三代校長を務めた松本虎夫先生によって作詞され、春日小学校・川上小学校・松梅中学校で校長を務めた大久保豊先生が作曲されたものです。地域の自然や歴史を大切に、生徒の成長を願われた松本先生の思いが、歌詞の随所に表れています。

一番では、春日山の緑豊かな景色が、若者が未来へ向かう力強い姿と重ねて描かれています。「大和の二字の誓いにて」という表現は、昭和30年に春日・川上・松梅の三村が合併して“大和村”となった際、「三つが力を合わせ、大きな和（協調）を生み出す」という願いに由来しています。こうした地域の成り立ちを踏まえると、和を大切にしながら前へ進む意志が歌われていることが分かります。なお、昭和33年開校当時の楽譜には「だいわ」ではなく「たいわ」と記されています。

二番では、地域を清く流れる川上川が取り上げられています。その澄んだ流れは、確かな決意を胸に日々の学びに向き合う姿を象徴していると考えられます。「大いなる夢 胸にして」という言葉も、将来への志を持って努力する大切さを示していて、若い力への励ましが感じられます。

三番では、大和の豊かな伝統や文化が、時を越えて受け継がれていく様子が描かれています。「理想をかざし いそしみて」という表現からは、より高い理想を求めて努力する姿が浮かびます。大和中学校の名を未来へつなぐ存在であってほしいという願いが込められた節となっています。

校歌は、大和中学校で学ぶ全ての生徒を結びつける大切なよりどころです。卒業式では、三年間の歩みを胸に、歌詞に込められた思いや地域の歴史に触れながら、心を込めて歌い上げてほしいと思います。



(昭和33年開校当時の校歌の楽譜)

(ホームページ用では、鮮明な顔写真は載せておりません)

## 朝の交通指導に感謝

毎朝、校門付近では生徒の安全確保のために交通指導を行っていただいています。少年補導員の立石様をはじめ、前 PTA 会長の野田様、現 PTA 会長の畑島様に継続してご協力をいただき、子どもたちが安心して登校できる環境づくりが支えられています。また、通学路の途中でも、地域の「こども見守り隊」の皆様が交通指導や声かけを行い、子どもたちを温かく見守ってくださっています。地域全体で子どもたちを見守る姿は、本校の大きな力となっています。

なお、温かく「おはようございます」と声をかけていただくその姿は、子どもたちの一日の良いスタートにもつながっています。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。



## グラウンドの入り口を整備しました

保護者会や授業参観の際には、多くの保護者の皆様にグラウンドへ駐車いただいておりますが、その際、「入口が狭く、車体がブロックにこすれそうで心配」との声をこれまでいただいていた。特に離合時には通行が難しく、ご不便をおかけしていたところでした。

このたび、いただいたご要望を踏まえ、「大成門」横のグラウンド入口を従来よりも広く整備いたしました。出入りのやすさが向上し、より安全にご利用いただけるようになったと考えております。今後とも環境整備に努めてまいりますので、どうぞ引き続き、グラウンドへ入る際には周囲をご確認のうえ、お気をつけてお進みください。



今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。